

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学演習		必修	1	3	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
浅野 克俊 他	C313	k.asano	火曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	義肢・装具に関する臨床のイメージを定着できることと、対象者に適合した基本的な上肢スプリントを製作できることを目的とする。臨床で活躍している作業療法士から義肢に関する実践事例を学ぶ。また、頸髄損傷、末梢神経損傷、骨折、腱断裂、リウマチ性疾患など上肢スプリントが適応となる疾患と障害の理解を踏まえ、4 種の基本的なスプリントの製作とレポートの作成を行う。				
学習上の助言	義肢装具学の履修者が参加する。準備、製作、後片付けなど演習はグループワークが主体となる。演習の一連の過程でチームのメンバーとしての役割を果たすこと。				
教科書	作業療法学全書 改訂第 3 版 第 9 巻 作業療法技術学 1 義肢装具学/著編：古川 宏 (日本作業療法士協会：監修) / 協同医書出版社				
参考書	手のスプリントのすべて(第 4 版) / 矢崎 潔 著 / 三輪書店				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	基本的なスプリントの構造や適応を説明できる。			OT(2)	
②	基本的なスプリントを製作できる。			OT(2)	
③	基本的なスプリントのチェックアウトと修正ができる。			OT(2)	
④	基本的なスプリントの材料、用具、対象者に合わせた製作手順を説明できる。			OT(2)	
⑤	グループワークを通じて目標を達成できる。			OT(1)、(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、義肢・装具の復習	講義	教科書と配布資料を参考に復習する	1	
2	小児義肢の作業療法実践 ①	講義	教科書と配布資料を参考に復習する	1	
3	小児義手の作業療法実践 ②	講義	教科書と配布資料を参考に復習する	1	
4	短対立スプリントの製作・修正 ①	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
5	短対立スプリントの製作・修正 ②	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
6	短対立スプリントの製作・修正 ③	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
7	コックアップスプリントの製作・修正 ①	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
8	コックアップスプリントの製作・修正 ②	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
9	コックアップスプリントの製作・修正 ③	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
10	ナックルベンダーの製作・修正 ①	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
11	ナックルベンダーの製作・修正 ②	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
12	ナックルベンダーの製作・修正 ③	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
13	尺側偏位防止スプリントの製作・修正	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
14	尺側偏位防止スプリントの製作・修正	演習・実習	制作物を修正し、教科書やプリントで装具の概要を復習する	1	
15	装具製作・修正のまとめ	講義	全 14 回の授業で使用したプリントを用い復習する	1	
試	スプリントとレポートを提出することで試験に替える				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	30	50	0	20	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	20	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	4 種の上肢スプリントについて臨床的な面に着目して実用的な「実習ノート」を作成する。 評価基準：スプリントの名称、適応となる疾患・障害、目的、製作上の注意点、チェックアウトのポイント、使用する材料の 6 項目(各 10 点)、対象者の症状、皮膚の状態、体格の相違などによる製作上の注意点、工夫した点(各 20 点)。合計点を総合点の 30%に換算。				演習・実習の過程で逐次助言指導する。提出後、修正点を記してスプリントとともに返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	見本製作のデモンストレーションを見学し、メモをとる。不明の点を質問する。対象者に適合した 4 種の上肢スプリントを製作し、完成させる。チェックアウトと修正を行う。 評価基準：スプリントの製作方法(50 点)、スプリントの完成度(50 点)について評価する。合計点を総合評価の 50%に換算する。				スプリントの製作過程で逐次助言指導する。スプリント提出後、修正点を記してレポートとともに返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		グループに分かれ 2、3 組のペアを作る。各ペアは互いに患者とセラピストの役割を果たす。互いに協力し、グループとして目標を達成する。 評価基準：準備、危険防止、互いに適切な役割を果たす、演習中の用具・材料の管理、後片付けの 5 項目の協力度(各 20 点)。合計点を総合点の 20%に換算。				演習・実習の過程でグループごとに行動目標を定め、助言指導する。
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎浅野 克俊、小沢 健一、野口 智子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技のため登校授業である。1 日あたりの授業は 3 回ごととする。 ・ケーシーの実習着、ズボン、靴を着用し、教科書、筆記用具を持参する。 ・配布資料を保管するファイルを準備する。 ・互いにモデルとなるので重ね着をする場合は、肘関節が出せるようにする。 ・事故防止のために長い髪は束ね、爪を切りそろえておく。 ・大学構内での授業受講に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性がある。 <p>教員の実務経験：本科目の担当教員は 10 年以上の臨床業務経験がある。</p> <p>実践的授業の内容：臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。</p>							